

第1回さぬき市健康増進計画策定委員会 会議要旨

- 1 開催日時 平成 25 年 7 月 4 日（木）14 時 00 分～15 時 50 分
- 2 開催場所 さぬき市役所長尾支所 2 階 201・202 会議室
- 3 出席者 **【委員】**久保委員 溝渕委員 服部委員 山田委員 吉原委員
名和委員 金岡委員 岩崎委員 山下委員 米澤委員
大井委員 真鍋委員 十河委員 宮本委員 富田委員
山下委員 和田委員（欠席 2 名）
【事務局】健康福祉部国保・健康課 課長外 3 名
【コンサルタント】 2 名
【傍聴】 0 名
- 4 会議次第
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長あいさつ
 - 4 委員長・副委員長の選任
 - 5 議題
 - (1) 健康増進計画の策定について
 - (2) アンケート調査について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
 - 6 閉会
- 5 配布資料 第1回さぬき市健康増進計画策定委員会資料
さぬき市健康づくりについてのアンケート調査（5歳児の保護者用）（案）
さぬき市健康づくりについてのアンケート調査（小学生用）（案）
さぬき市健康づくりについてのアンケート調査（中学生用）（案）
さぬき市健康づくりについてのアンケート調査（18歳以上）（案）
さぬき市健康増進計画策定委員会設置要項

6 会議内容

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞14 時 00 分
事務局	失礼をいたします。定刻の時間には少し早いですけれども、本日 2 時出席

	<p>の皆様方全員お揃いでございますので、ただいまから第1回のさぬき市健康増進計画策定委員会を開会いたしたいと存じます。皆様方には大変ご多忙のところ、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、本策定委員を快くお引き受けいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。それでは、次第のほうに沿いまして進めさせていただきます。2の委嘱状の交付をさせていただきます。市長から委嘱状をお渡しいたしますので、委員の皆様のお席のほうでお待ちいただきますようお願いいたします。</p> <p>●各委員に委嘱状を交付</p>
事務局	<p>ありがとうございました。委員の皆様は、今期健康増進計画策定委員会につきまして、どうぞ今後ともご協議のほどよろしくお願いを申し上げます。それではここで市長からごあいさつを申し上げたいと存じます。よろしくお願います。</p>
市長	<p>本日は新しいさぬき市の健康増進計画を策定するための本年度は第1回目の策定委員会を開催いたしましたところ、先ほど委員の皆様方には委嘱状また任命証をお渡しをいたしました。司会のほうからは快く言っていたというふうに申し上げたわけですが、お忙しい中、必ずしも快くではない方もおいでかまわりませんが、この計画自体が今既に平成16年につくった第1期目の「さぬき・すこやかプラン21」というものに引き続く第2次の計画ということでございます。その名の通り、人間がこれから生活をしていくうえに、健やかに生きるという健康を増進しながら生きるということは、いつの時代にも必要なことでありますし、一言で言えば簡単なようでございますけれども心身とも健康で長生きをするというのは非常に難しいことだなというふうに思います。そういった意味では行政だけでそういった計画をつかって、そして市民の皆さんに健康な生活を送ってもらう、健康を増進してもらうというのはなかなか難しいということもございまして、市民の皆さんにはご自分でできるいわゆる自助についてはできるだけ自分でやっていただくと。そして行政も責任を放棄することなく、行政がやるべきことはお金が厳しい中でも、特にさぬき市は厳しいわけですがそれでもその中でもやると。そして行政のそういった公助とそれから市民の皆さんの自助で、やはり隙間ができる部分については共助ということで共に手を差し伸べながらその生活を豊かにしていく。それも単なる体だけの健康ではなくて心も健康で、そして寿命というものを全うしてもらう。天寿を全うして本当に亡くなる瞬間まで自分の尊厳、人間としての尊厳を生かしながら生活してもらう。そのための計画ということでございますので、非常にお手間を取らずと</p>

	<p>ということになるかと思えますけれども、ぜひともそれぞれのご専門の分野の知識なり、またいろんなご経験をこの計画の中に反映させていただければありがたいなというふうに思っています。くしくも今日は7月4日ということで参議院議員選挙の公示日ということで、日本もこれから新しい政治また新しい経済の中に入って行くわけであります。いかなる政治経済のもとでも、やはり人間の幸せというのは健康で生きるということとはどんな世代でもどんな時代でも必要ではないかというふうに思っています。そういった意味では今日の7月4日公示日にあわせたわけではないでしょうけど、新たなさぬき市の計画をつくるにはなにか運命的な日ではないかなと勝手に思っている次第でございます。繰り返しになりますけれども委員の皆さん方には本当にお忙しい中、貴重な時間をとっていただいて議論に参加をしていただくわけでございますけれども、これまでの10年の計画の総括をしながら改めるべきところは改め、また継続すべきところは継続し、そして新しい計画に集約をするということを事務局共々、一生懸命取り組ませていただきたいというふうに思っておりますので委員の皆さん方におかれましては、これまでと同じようにこれまで以上にご理解とご協力を心からお願い申し上げまして今日の第1回の策定委員会におきます私のほうからのお礼を兼ねたごあいさつとさせていただきますと思います。今回の策定委員会どうぞよろしくお願ひします。ありがとうございました。</p> <p>●市長退席</p> <p>●委員自己紹介</p> <p>事務局 尚、本日は2名の委員様について欠席ということのご連絡をいただいております。委員の皆様方には先にアンケート案等の資料を送付させていただいておりますけれども、本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら挙手をお願いします。皆様お持ちいただいておりますでしょうか。それでは本日の会議はさぬき市健康増進計画策定委員会設置要項、第5条第2項によりまして委員の半数以上の出席によりまして会議を開くことができますことをまずご報告をさせていただきます。続きまして次第第4、委員長より副委員長の選任についてお計りをしたいと思います。要綱の第3条第1項及び第2項に委員の互選により委員長、副委員長を置くこととなっておりますので、委員の皆様よりご意見を賜りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>委員 事務局案は。</p>
--	--

事務局	<p>ありがとうございます。事務局案という意見をいただきました。ほかには？よろしいでしょうか。ありがとうございます。それではほかにもご意見がないようでございますので事務局のほうから案のほうを申し上げたいと思います。それでは委員長には、この策定委員の1次の策定委員会でもお世話になりました香川大学教授の真鍋芳樹委員様にお願いしたいと思います。また副委員長には本日お見えではございませんが、香川県東讃保健福祉事務所の次長久保訓子委員様にお願いしたいと存じます。ご承認いただけますなら拍手をもってお願いいたします。</p> <p>●拍手</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。それでは委員長に選ばれました真鍋委員様に議長席にお移りいただきまして、ひとことごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
委員長	<p>香川大学の真鍋でございます。今委員長に選出していただきましてどうもありがとうございます。先ほど市長ならびに中村課長からもお話ありましたように、第1次のこの健康増進計画、平成16年の3月、年度としましては平成15年度にできたものです。皆様のお手元にはダイジェスト版といたしましうか簡易版がございまして、当時、少々分厚めのものを策定いたしました。このときにこの策定委員会の委員長を仰せ付かって策定しました。10年経って第2期の健康増進計画を立てるにあたりまたご縁がありましてお呼びいただきました。なにぶんにも力不足な点が多々あると思いますけれども委員の皆様のお力を拝借しながら議事を進行をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、以後の議事の進行につきましては設置要綱第5条第3項によりまして、委員長にお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、ただいまから議事に移らせていただこうと思いますけれども、議題に入ります前に会議の公開について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の会議の公開については附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づきまして、原則として公開するため市のホームページ上で会議予定を掲載し傍聴者10名までを許可することにしております。また会議の結果についても事務局において会議用紙を作成しホームページ上で公開する予定としておりますことをご報告申し上げます。</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたけれども、さぬき市健康増進計画策定委員会の会議につきまして公開することに決してよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは公開いたします。傍聴者がおられましたら入室いただきます。本日は傍聴者いらっしゃらないということでございます。なお、今後の会議につきましても指針の基準により公開いたしますので、ご了承お願いいたします。それでは議題に入ります。お手元の次第によりますようにその他にも含めて全部で4つの議題があります。まず議題その1の健康増進計画の策定について事務局に説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、お手元の第1回さぬき市健康増進計画策定委員会資料に沿ってご説明させていただきます。まず1計画策定の背景についてですが、よくご存知の方も多いと存じますので簡単に振り返りたいと思います。わが国においては健康増進にかかる取り組みとして国民健康づくり対策が昭和53年から展開されてきました。近年の生活環境の著しい変化や急速な高齢化に伴って、がんなどの生活習慣病が増加しており、その結果、介護や医療にかかる費用が増えている状態にあります。そのため国は第3次国民健康づくり対策として壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸、及び生活の質の向上を実現するため、健康づくりや疾病予防を積極的に推進する必要があると、平成12年に厚生省が制定しました。21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21」を具体化する法律として健康増進法が平成14年8月に交付され、平成15年5月から施行されています。2、(1)健康増進法の目的は抜粋の第一条にありますように、高齢化社会に対応した国民の健康増進策の基本を定め国民保健の向上を図ることを目的としています。続きまして2ページをご覧ください。(2)国民の責務として第二条で国民は生活習慣の重要性を理解して生涯に渡って健康増進に務めなければならないとされており、健康づくりに努めることは国民の義務であることが掲げられています。また(3)国・地方公共団体の責務として第三条では国や自治体は知識普及支援に努めなければならないと謳われています。3ページをご覧ください。国が進めてきた健康増進について平成12年に制定しました健康日本21では、生活習慣病予防のために9分野、栄養、運動、休養、アルコール、歯、たばこ、がん、循環器病、糖尿病に関する具体的な指標や数値目標を設定して健康増進に12年間努めてまいりました。そして平成24年度には年々変化する国民の生活環境や疾病構造を踏まえ、全ての国民が共に支え合い健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指し、平成25年度から平成34年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））として今後の国民の健康</p>

の促進の総合的な推進を図るための基本的な方向性を設定しました。健康の増進に関する基本的な方向は四角で囲んでいる5項目になります。次に4ページの図をご覧ください。お手元にダイジェスト版をお配りしていますが、さぬき市ではさぬき・すこやかプラン21を平成16年3月に、健康増進計画と母子保健計画を一体として作成し健康づくりを推進してまいりましたが、今年度は計画の最終年度となっております。今回ご審議いただく平成26年度から10年間の計画は、さぬき市すこやかプラン21第2次といたしまして、健康増進計画のみの健康計画を考えております。また健康増進計画は住民全てが対象となる計画ですので、関連する国や県の他の計画とも整合及び連携を図った計画としていきたいと考えています。次に5ページから11ページまでに、さぬき市の現状を少し簡単にお示ししています。人口については5ページ、6ページをご覧ください。総人口については減少傾向で出生率も低くなっており少子高齢の傾向は益々進行することが予想されます。7ページにまいりまして、国保の一人当たりの医療費につきまして年々増加を続けており県平均を上回っております。8ページの国保の平成23年度の主要疾病別医療費では、新生物、精神及び行動の障害、高血圧、歯の疾患が多くなっています。それを裏付けるように新生物の年間医療費は22年度から増加傾向にあります。次に10ページのほうに移りたいと思います。国保の特定健康診査については、平成23年度において受診勧奨を重点的におこなったことで受診率が向上しましたが、国が設定した65%には及んでいません。特定保健指導実施率につきましても平成23年度は受診者が増加したことにより対象者が増加となり実施率は前年度より低下しました。実施率についても国が設定した45%には及んでいませんが、例年県平均よりは高い実施率となっております。11ページのがん検診についてですが、受診率がほぼ横ばいであり23年度で国、県の受診率に届いていないのは子宮がん検診のみとなっております。次に12ページのほうをご覧ください。5、計画策定の考え方としては、現在の計画と同様に①自分の健康のために何ができるか。②家族や地域でどのようなことに取り組めるか。③市役所はどのような支援が必要か。の自助、共助、公助の考えのもとに1人ひとりの健康づくりを社会全体で支えるというヘルスプロモーションという考え方で推進していきたいと考えています。計画策定方法としては13ページをご覧ください。まず実態把握としてアンケート調査、既存の統計資料、検診の結果や疾病統計を用いた現状等の整理をおこない課題の抽出や分析をおこなっていきます。その後、関係団体や庁舎内のヒアリングをおこない策定委員会で現状や課題を踏まえた今後の方向性の検討や目標の設定をおこないたいと考えています。簡単ですが、以上が計画策定にあたっての説明であります。

委員長	<p>はい、ありがとうございます。ただいま説明がありましたさぬき市健康増進計画について何かご意見、あるいはご質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、また後ほどもしご意見がありましたらそちらのほうへお願いしたいと思います。では続きまして議題のその 2、アンケート調査について。これも事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>アンケート調査の代表者はアンケートの見本を委員さんにはお送りさせてもらっている通り、5 歳児の保護者の方約 360 名。小学 5 年生を対象に約 440 名。中学 3 年生を対象に約 460 名。18 歳以上の市民の方で 3600 名を予定しております。方法は市内の保育所、幼稚園、小中学校を通じてアンケートの配布回収をお願いする予定です。時期は夏休みまでに配布して記入をお願いしたいと考えております。18 歳以上の市民の方には 7 月 20 日頃、郵送にて依頼をして 8 月 10 日頃までに回収をしたいと考えております。アンケートの項目については 18 歳以上のアンケート項目は 51 問あります。5 歳児の保護者用は 24 問。小学 5 年生用は 28 問。中学 3 年生用は地域福祉計画に関する項目を盛り込んでおまして 32 問となっております。国の健康日本 21 第 2 次におきまして先ほどご説明しました資料 3 ページの 5 つの基本方向に対して国が 53 項目に渡る具体的な目標を設定しております。また、香川県の健やか香川 21 ヘルスプラン第 2 次においても県は 51 項目の具体的な目標を設定しておりますので、整合性を図る意味で基本的な方向に配慮した全アンケートでは 30 項目の質問をさぬき市では設定いたしました。なおかつ市独自の項目として 11 項目と JMC さんからの提案の項目と回答者の属性の部分であわせると 18 歳以上のアンケート項目が 51 問となっております。以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。今アンケート調査の概要についてご説明いただいたんですけども、皆さんのお手元には事前に今事務局から言いましたように 5 歳児の保護者、小学生、中学生、18 歳以上というところで大きくは 4 つのアンケート用紙がお手元にあると思います。今言いましたように事前にご覧いただいていたと思いますので、これについていろいろご意見等あるいはご質問があればいただければと思うのですが、このアンケート調査が先ほどもあった健康増進計画にかなり盛り込まれる部分だというふうに思っております。したがってまして本日このアンケート調査の項目について十分なお意見をいただいて、ほぼ完成に近付いたものにしていきたいというふうに考えております。つきましては 5 歳児から 18 歳以上 4 つあるんですけども、ご覧になっておわかりのように各世代で共通の質問項目もあれば、世代に合ったような項目もございます。そういうこともありまして、まずは 5 歳児の保護者が記入するアンケートの調査用紙について項目、なんかこれ</p>

	<p>はおかしいんじゃないかとか、これもう少し入れたほうがいいんじゃないかとか、そういうふうなご意見をいただければと思います。まずは5歳児の保護者用について何かご意見、あるいはご質問等ございませんでしょうか。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>5歳児特定ではないんですけれども、今言われたものアンケートの件数ですけど、抽出率というか実質的なものと、もう1件は相対的なもの、地区の関係ですが、志度と志度東のなんか特定の意味合いはあるんですか。</p>
事務局	<p>地区を志度と志度東にわけている理由ということは、国保・健康課でそういう地区割りでアンケートの結果を比較検討してみたいというところで、志度全部というのではちょっと今までの手持ちの統計分析をしているときも、志度と志度東は別に統計をとっていましたので、手持ちの統計と比べるためにそういうふうな地域別の把握をするために比較をするために分けてみました。</p>
委員	<p>志度と志度東は天野峠からわけているんですか。</p>
事務局	<p>志度東は、小田、鴨部、鴨庄を志度東としております。</p>
事務局	<p>大きくは中学校区を基本に考えております。</p>
委員長	<p>あと抽出率はどういうふうですか。</p>
事務局	<p>3600とかっていう数ですか。これもJMCさんのほうから数を出してもらって、このぐらいアンケートを対象に送っていただければ有効な統計が結果が出るのではないかという推定のもとにこの人数にいたしました。</p>
委員長	<p>そうすると先ほどのご質問は、例えば5歳児の保護者用が360名ということなんですけれども、これは数が先にある？360という数字が先にあって、例えば5歳児の保護者用の360名の抽出率と18歳以上の3600人の抽出率というのは違うわけですか。</p>
コンサルタント	<p>すみません、ちょっと今手元にその当時の資料を持ってきていないので詳細の数を今お答えすることが難しいんですけれども、当初この件数のほうをご提案させていただいたときに、今回さぬき市さんのアンケートを実施するにあたって人口に対してどのぐらいの人数の方に調査をおこなった場合、回収</p>

<p>委員長</p>	<p>率が例えば何割ぐらいを見込むことができたなら有効回答とできるかということで推計のほうをさせていただきまして件数を出させていただいたということがありますので、先に件数のほうがたっているというのはあります、実際。</p> <p>たぶん吉原委員さんの仰るのは、5歳児の保護者の抽出率と18歳以上の抽出率が違うのではないかと。あるいは中学生とかあるいは小学生の数の抽出率が違うのではないんでしょうかというご質問ですね。その場合、そういう例えば各世代で抽出率が違うというのがいいのかというそういうご質問だろうというふうに思っております。多分委員長の私が言うのもなんなんですけど、先ほど言いましたように統計的なもので回収率とかいろんなことを考えて、それで人数があって多分4つの世代の抽出率を同じにすると、あるところはとっても多くなってあるところは少なくなるとか、その反対が発生するとかいうふうに…例えば18歳人口以上を何%にすると、その割合で5歳の保護者を選ぶともうすごい数が少なくなって、そうなると回収率とかあるいは集計での信頼性というのがなくなるのではないだろうかとか、については各世代の抽出率が違ってても比較的信頼がおけるような数字が出てくる人数というものを確保したのだろうというふうに推測いたしております。多分こんなんでいうのも変なんですけど、多分そうでしょうね。はい、ほかにはご意見等ございますでしょうか。まずは5歳児ということで。はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>大したことじゃないんで言うべきかどうか迷いながらですけれども、例えばこの鑑のところには、記入に際してのお願いというところに5歳児のお子さんについてお答えくださいとあります。ところがずっとめくっていきますと5ページのところに入ります。するとお酒・たばこについてとあります。もちろんこれは保護者のお母さんであったりそれ以外の家族についての質問です。またお子さんの歯の健康についてというのでお子さんに戻り、そしてまた6ページには地域とのつながりについて。これもあなたは、となっているのでこれを記入する保護者のどなたかのことだと思うんです。この順番について例えば保護者についてだったら保護者についてのところで、例えばお酒・たばこについてと地域とのつながりについての順番を、子どもは子どもで一度にいて、そのあとお酒とたばこについてとお子さんの歯の健康については、絶対お酒・たばこが先がないといけないという項目でもないと思いますので、そのところにももちろん子どもにお酒・たばこについてという質問があるとは思えないんですけれども、鑑のところには5歳児のお子さんについてと断りがあるところから、このところはお記入の保護者の方にとかっていうちょっと断りを入れて、その順番を変えたほうがいいかなと、アンケートの集計の際もそのほうが便利じゃないかなと思います。それとあわせて6</p>

	<p>ページの地域とのつながりについてというところにもう 1 つ、それはもうこのどれかに入るだろうって言われるかもしれませんがけれども、さぬき市でいろいろとおこなわれている子育て支援サークルというのがあります。そういうサークルは趣味のサークルでもないですしボランティア活動でもないですし、かといって地区事業行事にも入らないかなと思うんです。でも、この子育て支援サークルの中でお子さんをお持ちの保護者の方がいわゆる地域とのつながりをかなり持っていらっしゃるというふうに考えますので、その項目を入れるのはいかがでしょうかということです。以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。今仰られた通りだと思いますので、ちょっとまた本日のご意見等いただきましたものを整理させていただいて協議させていただきます。それから先ほどのイベント関係のところについてです。それももっともなご意見だと思いますけど、ちょっとほかの一般のアンケート等との整合性もありますのでもう一度協議させていただきます。</p>
委員長	<p>ほかはいかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>まず表紙のところからです。一番最後のところ、書き終わったら保育所・幼稚園に提出とありますけども、これ市外の保育園・幼稚園に通われている方はどういうふうに回収されるのでしょうか。それとあともう 1 点、5 ページの問 21 のお子さんは歯を磨きますかというのは、これは自分で磨くか磨かないかということだと思うんですけど、保護者の方の仕上げ磨きもおこなっているかどうかという項目も入れていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>はい、ありがとうございます。市外に行っている保育所・幼稚園の方を対象にするかというご質問だと思うんですけども、一応市内の保育所・幼稚園に通っているということを考えております。</p>
委員	<p>無作為に選んでいるというわけではないということですか。</p>
事務局	<p>無作為で選ぶのは 18 歳以上の方で、幼稚園・保育所、小学校、中学校は市内のそういう施設、小中学校とか保育所・幼稚園に通っている方を対象にしたいと考えております。また歯の項目について仕上げ磨きという項目を追加してはどうかというご意見につきまして、幼児の時期にはこれも必要なことだなと思いました。また検討させていただいて反映させていただきたいと思</p>

	ます。ありがとうございました。
委員	非常に細かいことなんですけど、これだけは封筒に入れてという言葉がないんですけど。
事務局	ありがとうございました。はい、抜けております。ご指摘ありがとうございました。
委員長	はい、ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。5歳児ということで子育てボランティアをされている山田委員さんいかがでしょうか。何かご意見とか。特にはございませんか。
委員	はい。
委員長	はい、ありがとうございます。さらに5歳児ということなので、保育所にも通っているだろうと思いますので大井委員さんいかがでしょうか。
委員	ずっと読んでみたらさっき言われたことになるんですけども、地域とのつながりについてがバツと出てきたんですけど、これはちょっとどういう関係性でこれが出てきたのかなと思いました。あとはいいと思います。
委員長	今のご質問に対していかがでしょうか。
事務局	先ほどのご質問の地域との関わり合いについての設問はということですが、これは成人も中学生も5歳児の保護者の方にも共通の設問でありまして、国の健康を支え守るための社会環境の整備という項目で必要なのかなと思って私たちはめております。以上です。
委員長	はい、ありがとうございます。これもまた委員長から言うのも変なのかもしれませんが、国が示していますいろいろな指針の中で、例えば喫煙率をどうしましょうとか飲酒率をどうしましょうというような、そういった数値目標もあるんですけど、ヘルスプロモーションで最も大切なところは、やっぱり地域の人とみんなで一生懸命一緒にやって取り組んでいこうね、というのが大きな目標といいましょうかたてりにもなっているだろうと思います。そういう中で地域とのイベントとか活動の参加状況、あるいは参加への意思であるとかそういったことを調査していれば、のちのちの対策につながるというようなことで入れていいのではないかなというふうに思っております。た

	ぶんそうですよ。
事務局	そうですね。
委員長	ほかはいかがでしょうか。はい、どうぞ。
委員	歯周病というのは、これは虫歯とか、そんなのは歯周病というものは大人の病気とかっていうふうに思うですけど、この中の歯がなくなる原因とかって私問題自体の意味がわからないんですけど私だけでしょうか。
委員	まず 23 番というのは親に対しての質問なのか子どもに対しての質問か。21 番ではお子さんの健康についての流れできましたけど、そのあと先ほどありましたけど、質問項目のところ親とお子さんの分けて結局はわかりやすい…あと年代のところにも歯周病に関する同じような質問載っていますけど、もうちょっと…
事務局	すみません。この項目についても親御さんに答えていただく項目として市独自の項目ではめております。なので、あなたはというような文言を先に書くほうが子どもさんのことについて聞いているのではないよというのがよくわかるかなと思って、設問をもう少しわかりやすいように変えたいと思います。ありがとうございました。
委員	この中のさっきの 5 番の歯がなくなる原因はというのは、この歯周病と関連があるのはなんだと思いますかという質問になるのか答えになるんじゃないですかというふうなご質問だと思うんですよ。
委員長	多分ですね、この選択肢の 5 番のことは、原因というフレーズが入っているので、喪失っていうととっても難しい表現になるので、歯を失うとか歯がなくなるとかそういうような表現であればまた丸がつくかもしれないんですけど、これ要はほかの原因って言えば原因になってしまうので、ある意味余分なものがついているというような雰囲気があるのではないかなと思います。
委員	先ほど委員長さんの言われた通りだと思います。歯がなくなる原因といたしましたら歯周病だけでもなくて虫歯とかでも最悪抜かなきゃいけないことありますので、歯がなくなるというところで止めていたたくとかそういう言葉をちょっと変えていただけたらと思います。あと歯科検診というのは逆に歯科検診をしているから歯周病になるのかならないのかというような、ならないた

	<p>めにだったらわかるんですけど、それをどういうふうに捉えられるかというちょっと言葉的なものが気になりました。</p>
委員長	<p>ここはまたあとで十分に検討が必要な質問項目ではないかなというふうに思っております。今いただいた件も含みましてまたご検討いただければと思います。はい、5歳児の保護者用についての質問アンケート調査についてほかに何かございますでしょうか。またもし後ほどありましたらご意見をいただければと思います。では続きまして小学生用のアンケートの調査票につきまして、何かご意見等がありましたらよろしくお願いたします。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>失礼します。前回の策定するときにも同じようなアンケートをされたのかどうかということと、前回の策定委員会でのアンケートがされたのかどうか、項目についても同じなのか変わった部分があるのかということをお教えいただけますか。</p>
事務局	<p>すみません、ちょっと資料を持っていないのであとでまたお答えさせていただきます。</p>
委員長	<p>多分第一次の計画の委員長も拝命しておりましたことからいきますと、たぶん第一次のときにはこのような大規模な調査はしていないと思います。もう少し調査をしたとしても簡易版であったり、あるいは従来さぬき市5町あったんですけども、その町で集計できるようなデータを使ってまとめたのではなかったかなというふうに思っております。</p>
事務局	<p>追加して発言しますと、健康増進事業だけに特化したアンケートではなかったように、地域福祉計画と一緒に取らせてもらったように記憶しております。</p>
委員長	<p>ということから、今回の質問項目全てが過去にも調査したものではないということになります。</p>
委員	<p>わかりました。今それを質問させていただいたのは、この中には項目を小学校も中学校も10題ぐらいあるんですが、食に関すること、それから生活習慣、運動習慣、たばこ・お酒、ストレス、歯の健康ということで項目別に分けて内容は素晴らしいなと思います。ただ項目としましては、やはりたばこの件、お酒の件につきましてはどうなのかなということも考えます。それから経年比較を前回とするのであれば同じアンケート内容になるのかなという気がし</p>

	<p>ますが、ないのであればこの内容については少し協議をする必要があるのかなど。項目等につきましてもやはり小中の全在児が対象であれば市の教育委員会との協議が必要かなというふうに私は思います。以上です。細かい点がちょっとあるんですけどもよろしいでしょうか。例えば小学校の場合におきますと、身長体重につきましては5年生多分分からないと思います。調べなければいけないと思います。ここはちょっと書けないのかなど。肥満係数等を調べるのであればほかの東讚保健福祉事務所さんのほうの統計を使ったらとかいうこともできるのかなという気がします。それから食事という項目がございますが、食事は昼食なのか夕食なのかという限定がされていないのでどこで答えていいのかなというふうに思うのかなど。問9等。それから生活習慣につきましては、子どもたち多分、6時頃まで、6時半頃ってなるととてもわかりにくいんですね。ですから中学校も同じなんですが例えば6時までとか、それから6時から6時半という具体的な数字であれば子どもたちは答えられやすいのかなという気がいたしております。そのほうが明確にわかるかなと思います。それからストレスというのはちょっと言葉が5年生には難しいのではないのかなど。やっぱりもやもやすることとか嫌なこと、とても気になることってという言葉。担任のほうで補助はできると思うんですが具体的な言葉のほうがいいのかなという気がしました。それから歯のほうではこれは小学校のほうではないんですかね。中学校のほうでしたか、フッ素洗口につきましてはさぬき市内の小中学校全校で実施しておりますので、家庭でフッ素入りの歯磨きを使っているかどうかという質問がいいと思います。中学校のほうを言って申し訳ないんですけど小学校のほうにはないんですけど中学校のほうにそれらの項目がありましたので、小中はしていますので、フッ素のほうを、いらぬです。あれこれ小中にまたがって申し訳ない。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほど委員さんがおっしゃった小学生用のたばこ・お酒については、前の調査でこのものの把握をしていないのであるならば今回の調査からはこれをのけたほうがいいのではないかというそういうご意見と受け取ってよろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>のけるかどうかにつきましては、私本人としてはたばこ吸うとか酒を飲むということは反対でございます。特に中学校の場合にも小学校でもたばこについては吸っているか吸っていないか無記名ですのでわかりませんが、犯罪を聞いているのはどうか。たばこを吸うのをどう思いますかとか、吸っているのを見てどう思いますかとかいう質問のほうがいいのかなというご意見も中学校のほうからいただきました。その辺りも教育委員会等の協議があるほうがいいのかなど。</p>

<p>コンサルタント</p>	<p>喫煙と飲酒の分につきましては国のほうの目標とかでもアンケート項目として必須ということで表記されている部分ではないんですけども、今ちょっと健康の問題として喫煙・飲酒に関わる生活習慣病の部分というのが成人以降は非常に問題になっているということで、かつ国のほうが問題視をしているのは喫煙であったり飲酒であったりという初回経験する年齢の低年齢化というところをちょっと問題意識として定義をしているところで、未成年の喫煙率、飲酒率の低下ということを目標に掲げている関係もありまして、現在の経験ということで設問のほうは今入れさせていただいている状態ではありません。実際、他市町さんで教育委員会さんなんかと協議をした結果、その喫煙・飲酒の部分について設問のほうを省くというふうに選択をされる場所というのも出てきてはいますが、国との比較という意味で設問項目としては置いておいたほうがいいのではないかなというのが意見として出させていただけます。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただ先生が仰った通り、設問の仕方ですね、書き方ってところについては仰るところは重々わかりますので、また教育委員会のほうにご協議をさせていただこうかと思っております。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>それはぜひ良いと思いますのでよろしくお願いします。ほかに小学校のことについて何かご意見等ございませんでしょうか。はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>7 ページの中ちょっと下のほうにストレスについてと先ほど仰られましたけれども、アンケート中に担任の先生からの説明があれば書けるだろうということですけど、アンケート途中で生徒もいわゆる早い遅いがありまして途中での説明っていうのは難しいかなと思います。そこでストレスについてのところは例えば小学校5年生にわかりやすいストレスの先ほどもちょっともやもやするとかイライラするとか腹が立つとか怒りたくなるとかいろいろな言葉が出てくるかとも思いますけれども、そういう言葉の説明をどこかにちょっとしていただけていたら子どもたちはそれについて答え、はい・いいえが書けるのではないかと思います。それからその下の問25 ストレスを感じたときに自分なりに解消する方法はありますかというような、これは小学校5年生には非常に難しいかなと私は思うんですけどもいかがでしょうか。それから8 ページのところの一番上の、あなたは日ごろ笑っていますかというこの日ごろ笑っていますか、どのように子どもたちは受け取るかなと思ったとき、もう少し期間を限定して例えば、あなたは最近笑いましたかともうちょっと広げて、ここ1カ月ほどとかがっていうふうにするのとどう違うか</p>

事務局	<p>な。日ごろ笑っていますか、ちょっと私はこれを読んだときにひっかかっています。以上です。</p> <p>ストレスの項目についてご指摘の通り、私もこれを実際に持っている子どもに書かせてみたときに半分ぐらい「ん？」っていう子がいたので、難しい表記だなと。これをやっぱり注釈をつけるとか言葉の説明っていうのが必要かなと思っていたところなので、これについてはまた検討させていただきます。26問の日ごろから笑っていますかっていう文言も、最初は心から笑っていますかという項目だったんですけど、それもやっぱり小学校5年生には少しわかりづらく書きにくかったという項目で、課の中でいろいろ考えて日ごろから笑っていますかという表記にしましたけれども、ご指摘通りもう少し検討が必要なのかなというところで今思っていますので、また検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
委員長	はい、どうぞ。
委員	質問のところですが、あなたが食べ物を選ぶときの基準を書いているんですが、3番目に体に良いもの、4番目にカロリーの低いものというふうにして、5年生ではわかりにくいかなと。カロリーがこれが低いとか、これが体にいいかわかるのかなと思うんです。
事務局	ご指摘いただいたらやっぱりそうだなと思いますので、すみません。またこれも検討させていただきたいと思います。
委員	この小学生の用紙は学校で書くというふうに皆さん捉えたと思うんですけど、実際はどこで書くんですか。最後のところに学校へ提出してくださいとありますので学校で書くのであれば担任に渡してくださいということで済むと思うんですけども。
事務局	学校で書いていただけたらありがたいとこちらは想定しております。また教育委員会とも話をつめてここら辺の表記を考えたいと思います。ありがとうございました。
委員	また他のことなんだけれども、小学校、中学校もそうですけれども各検診ありますよね。内科、眼科、耳鼻科、歯科も含めて検診あると思います。受診を勧められた子どもさんたちがどれだけ受診を勧められたあと受診しているかという項目についても入れてはどうかと思いますけれども。

事務局	小学生、中学生ともにだと思っんですけど、学校のほうでそういう調査をしているかということもわかりませんので、これも教育委員会のほうに確認をしてそういうデータがあれば載せられるかなと思いますけども。
委員	あと先ほどのストレスのところですけども、ないことがいいんですけどもストレスを感じる時の分がいじめの対象であったりとか、そういう言葉的なものを入れてはどうかと思いますけどもどうでしょう。
事務局	はい、ありがとうございます。この件についても教育委員会と現状でどのぐらい把握とかっていうのを聞いてみまして検討したいと思います。ありがとうございます。
委員	問 16 なんですけど、これ中学校からなんですけど、テレビやインターネットを見たり、携帯電話やゲームをしたりするのは1日にどれくらいですかという項目でございますけども、テレビとインターネット、携帯電話、ゲームは別にしたほうがいいのかなという気がするんですけど。それと平日と休日ではかなり大きな違いがあると思いますので、どちらを聞いているのかということも大事なのかなと思うんです。どうでしょうか。
コンサルタント	こちらの項目については確かに平日と休日の差っていうのは非常に大きいと思いますので、項目を分けるなり時期について追究をするなりという方法で考えさせていただきたいと思います。テレビ、インターネット、携帯電話のゲームという形でその種類を今回分けていない部分というのは、結局外遊びをしなくなったかどうかというところで対比をさせていただきたいなというところで、家の中、自宅の中で作業をするものということで固めさせてもらったことがありますので、このことについてもちょっと検討のほうはさせていただこうと思います。
委員長	ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。とりあえず小学生用は以上ということで、これまた、もしのちほどご意見等がありましたらお願いいたします。続きまして中学生用なんですけれども、先ほど米澤委員さんからいただきましたように、6 ページのフッ素洗口については学校でおこなっているということなので、質問文に家庭でというようなそういった学校ではないところであるということがわかるような質問項目にする、もしくは学校でしているならこの項目自体を除ける、そういったこともご検討いただければというふうに思います。ほかの中学生用の質問項目で何かご意見がありました

	<p>らお願いいたします。ここは先ほどの小学校のほうでいただいているご意見と重なるところもありますので、小学校のほうでいただいたご意見はこちらの中学校のほうでも検討するという大前提でご意見等いただければというふうに思います。中学生は先ほど小学生のほうでも検討したということで、それほど大きなところはないでしょうか。</p>
委員	<p>1 点だけよろしいですか。小学校のときも気になったんですけど、朝食を食べない理由はなんですかのところで、2 番目に用意されていない、作るのが面倒とあるんですけど、この作るのが面倒というのは最初から作るということ、それともあるものを準備して食卓に並べるだけでも作るというふうに捉えるのか、その辺りをどの辺までを作ると捉えたらよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>作るというのも中学生なら中学生ができる範囲で学校で自分で朝食を食べてきましょうというような取り組みをされているということを知りましたので、親御さんがある程度準備するものを作る場合もあるし、自分で女の子みたいな感じだったら自分で作れるものを工夫して作るというような意味合いもあるのかなと思ってそういう表記にさせてもらっています。</p>
委員長	<p>ほかはいかがでしょうか。では、また後ほどご意見がありましたらお願いするというにしまして、続きまして 18 歳以上のアンケートの調査項目について何かご意見がありましたらお願いいたします。これ 18 歳以上ということなんですけれども上は 74 歳まででしたよね？80 歳とか 90 歳の方はこれ答えないということで、皆さん方の頭の中にも 18 歳のある意味若者から 74 歳ぐらいの方までがこの項目に回答するというので検討していただければというふうに思います。</p>
委員	<p>これは年齢は 18 から今委員長が言われたように 74 歳とかなり広いですけども、ある程度、子どもさんあるいは小学校 5 年、中学 3 年となっていますけど、ある程度バーっとなでであるのか、大体このポイントぐらいで固めてあるのかという何か抽出の方法は考えられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>年代別ということではなくて、無作為で抽出しようと思っておりました。</p>
委員	<p>全体のバランスがどうなるかは出てこなければわからない。</p>
事務局	<p>はい、回答数によるかなと思います。</p>

委員	<p>極端なことを言うと 20、30 代が偏るかもわからないし、60、70 代が偏るかもわからない。</p>
コンサルタント	<p>基本的に年代が上がれば上がるほど、やはり回収率というのは非常に良くなる傾向というのがあります。実際年齢を平均的にとった場合でも、どうしても若年の回答というのは非常に落ち込んでしまうということがありまして、アンケートをとった上で統計的に有効回答の件数ということで今回この件数をしめさせていただいておりますので、そのため年代を指定することなくほぼ無作為抽出という形で対象者をとらせていただいたほうがいいのではないかとということでご提案のほうはさせていただきました。</p>
委員	<p>ただ、これからの 10 年とか 20 年を考えたときに 70 歳代の人のデータで次考えるのと 40 歳代の人のデータで次考えるという、違うように思うので何かある程度そのこれから 10 年を考えるのに役立つような年齢が得られたほうが、せっかくアンケートをとるなら有効かなと。どういう人をとったらいいかちょっと今わからないですけど。</p>
コンサルタント	<p>その点についてはちょっとまた持ち帰らせていただいて、対象の分とか踏まえ検討のほうをさせていただくようにします。</p>
委員	<p>小学校、中学校、5 歳児刻みにやっているところなんですけど、今度 18 歳以上になるとあまり差がないところもあるんですけども、質問項目からしましたらやっぱり飲酒とか喫煙の項目があるんで、20 歳以上については問題がなく書けるかなというところもありますけど、やっぱり低年齢化のところも踏まえて調査したいというところでしょうか。</p>
コンサルタント	<p>今回、当初予定をしていた分というのが 20 歳から 74 歳ということで対象にさせていただいていたんですけれども、先ほど仰られた通り高校生とか 20 歳前後の変化というのが非常に大きくなっているということで、生活習慣の乱れとかっていう点で見ると、どうしても高校生から 20 歳までの間の年齢というのが欠けてしまっている状態が多く今まで見られたことから、ちょっと対象年齢のほうを下げさせていただいてはどうかということで 18 歳からの項目とさせていただいております。</p>
委員長	<p>そこはやはり先ほど委員さんからもあっているように、18 歳で酒を飲むとかたばこを吸うというのは犯罪になるので、もちろん私たちとしては低年齢化というのを防ぎたいという気持ちもあるんですけど、こういった正式な質問</p>

	<p>表の中にこれを落とし込んでいいかどうかはちょっと検討は必要かもしれませんがね。ひょっとしたら、あなたは万引きしたことはありますかというようなこととよく似たところかもしれないけど、軽度な犯罪なら聞いてもいいんじゃない？というふうに思ってしまうと、それはまた、そういうことを聞いたら18歳の子たちこんなこと聞いているから返せないっていうと、回収率がまたガクンと落ちたりもしますので、その辺りは調査年齢を考えたりあるいは調査の項目を考えたり、それからやっぱり調整は必要だなというふうには思います。ほかはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今の委員長さんの意見ですけれども、結構年配の方、逆に25歳以上ぐらい30代、40代、50代の方に喫煙とか飲酒をされている方に、いつからはじめましたかと聞く場合には、逆に10代からという答えも出てくると思っています。そういうふうな聞き方のほうがよろしいんじゃないかと思います。</p>
委員長	<p>その点も含めて検討を加えましょう。ほかはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>高校生のアンケートをとらない理由は为什么呢。</p>
コンサルタント	<p>高校生をとらない理由というのは、はっきりこの理由があるのでとらないということではないんですけれども、国が目標として出している数値というのが大体小学生と中学生、成人ということで目標の数値を出しておいて、その部分と対比をするために今回対象のほうを小学生、中学生、成人18歳以上ということで設定のほうをさせていただいております。</p>
委員長	<p>ほかにご意見いかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>BMIとか測るんですかね、身長体重が必ず出てるのは。アンケートの2番に身長体重が全部出ているんです。私の経験からするとこういうふうにかかれたらこんなのは出さないでおこう、書きたくない…問題がない人はいいんですよ。問題がある人はこんな体重の数字は書かないでおこう、こんなのは出さないでおこうという感じになるんで、わりと嫌なもんなんです。書きたくないのはあまり…さっきみたいにたばこ吸いますかとか書きたくないというのは、それを質問するとアンケートを回収できにくくなる。身長体重も必要ならあれですけど、中学生なんか特にちょっと問題があるような子は絶対に書いてくれないです。</p>
委員	<p>今の意見ですけれども、はっきりした数値を書くのが嫌であれば、肥満傾向、</p>

	<p>自分が式を書いて身長どれだけ体重どれだけあれば自分は肥満です、標準ですという項目で選択するようにしておいてもらえたら丸つけやすいんじゃないですか。</p>
<p>委員長</p>	<p>これは今委員さん二方の発言にありますように、身長体重の数値を何に使うのかですね。どう評価するか。このアンケート調査の項目と例えばBMIとのクロス集計というか比較というのをしたいというならば、この身長体重が必要だと思うんですけど、さぬき市の住民の皆さんのBMIの状況というならば定期健診の結果であったり、あるいは学校、保健統計のデータであったりそういったものから小学生、中学生あるいは成人の肥満傾向はどうかっていう集団としては見ることはできると思いますね。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>検診結果のデータなんかは今後現状分析として使用はさせていただきたいと思っております。今回のアンケートのほうに身長体重というのを入れさせていただいたのは、先ほど委員長さんが仰った通り、ここから児童の肥満傾向であったり成人のBMIで肥満度を計算して肥満度の高い方の食習慣というのが通常どうなっているのか。例えば肥満度が低いお子さん、高いお子さんの普段間食で食べられているものはどういう傾向があるのかということで、ちょっとその辺りのクロス集計をとりたいということで項目として入れさせていただいている分になります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ではあれですね、先ほど委員さんがあったように身長体重をそのままとか、計算式を書いてあなたのBMIはどこに入りますかみたいなのを聞くのもいいかもしれませんね。ちょっと質問項目もまた検討がいいかなというふうに思います。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>その部分についてはまた検討させていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかはいかがでしょうか。はい。</p>
<p>委員</p>	<p>10ページなんですけど、服部先生に教えていただいたんですけど、ご自分の歯が何本ありますかと質問されて、私は何本かなんて数えないといけないと思ったんですけど、かなりハードルが高い質問だと思うので何本欠けているとかうまく聞く方がデータとりやすいかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>これは自分の歯ですよ。ブリッジとかは違うので抜髄しているやつも自分の歯であればカウントですよ。なのでその辺りが難しいかもしれませんね。</p>

	<p>これも検討が必要かもしれません。簡単に言えば入れ歯が何本ありますかとか、そういうほうが答えやすかもしれませんね。0本とか3本とか全部とか。ほかはいかがでしょうか。はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>これもささいなことですけど8ページの問31。運動習慣を身につけるためにどのようなことが必要だと思いますか。必要だと思いますかとあつて選択性が場所があつたら、何々たら、「あつたら」って入っているんですけども、この問と選択肢の対応がちょっと気になりました。例えば、どのようなことがそれこそそのまま「あつたら」いいと思いますかと問うか、もしくは必要だと思いますかという問いだったら、場所、指導者というふうに名詞で止めるだけで十分だと思いますが、本当にささいなことですけどそれを感じました。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>はい、そちらについては修正のほうをさせていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ほかはいかがでしょうか。はい。</p>
<p>委員</p>	<p>これもささいなことですけど、問10の1週間でどのくらい家族と食事をしますかというところに、ほぼ毎日と2番が週1から2回で3番がたまにあるで4番がほとんどない。これは2番は週に3~4回の間違いではないのでしょうか。あとそれともう1つ。どのようなものを食べたり飲んだりしますかって細かいんですけど、小学生のジュースのあとに野菜ジュースやスポーツドリンクでとまっているんですね。あとのアンケートを見ていたら野菜ジュースやスポーツドリンクを含むと書いてある。ここ含むというのが抜けている。</p>
<p>委員長</p>	<p>小学生の含むはいいんですけど、食事の頻度はいかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>食事の頻度2が週3~4回。1~2回ならたまにだと思います。ありがとうございます。修正いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほかはいかがでしょうか。ご発言をいただいている委員さんもいらっしゃるんですけどもいかがでしょうか。無理矢理あてるのもどうかというふうに先ほどちょっと思いましたので。もしご意見があればご発言いただけたらというふうに思います。では18歳以上のものも今のようなことでよろしいでしょうか。対象者をどういうふうにしていくかということも検討があるんですが、これまでの5歳児、小学生、中学生及び18歳以上、全部まとめてたまたもし気が付いたものがありましたらご意見いただければというふうに思いま</p>

	す。はい、どうぞ。
委員	すこやかプラン全体の部分と 4 ページに各ライフステージ別の取り組みがいろいろ掲げておりますが、今回のアンケート調査でそれと逸して 5 歳児、小学生、中学生、18 歳以上という形ですが、ここらの考え方も考え方を改めて各ステージ別を今後展開していくわけでしょうか。大きい意味合いをちょっとお知らせ願ったらと思うのですが。
事務局	県の第 2 次計画と同様に、申し訳ありません、ダイジェスト版のライフステージごとの、このような育つ世代、学ぶ世代、巣立つ世代というようなライフステージの細かいステージごとは第 2 次計画のほうではもう少し幅が広がっていて、次世代の健康、高齢者の健康というような感じで大きくざっくりとしたライフステージごとの計画になっておりますので、同じようなイメージで前回よりはもう少し幅を広げたようなものでライフステージには対応したものであるものと考えておりました。
委員長	ほかにご意見等ございますでしょうか。はい、どうぞ。
委員	中学生用と 18 歳以上を比較して一番最後の地域活動についてなんですけど、中学生のところには近所の人と話をしますかとか、障がい者とか高齢者というのが入るからかもしれないんですけど、こういうふうな福祉に関する質問があるんですけど、どうして 18 歳以上になったらそういう質問は含まれないのでしょうか。
事務局	中学生用については、地域福祉計画と健康増進計画とこのアンケートで一緒にとらしてもらおうということで地域活動についてというのを中学生用には入っております。18 歳からなぜ入っていないの？というのは、地域福祉計画でまた別に何千人か抽出しまして市民の方にアンケート調査を地域福祉計画のほうでおこなう予定なので、18 歳以上については健康増進事業計画に基づくアンケート調査だけ用意しております。
委員長	はい、ほかにご意見等はよろしいでしょうか。
委員	生活習慣病は若い小中子ども時代、高校生ぐらいまでの習慣で大体おおかた形成されると思うんです。そういうこと言えば、飲み物のところを全部チェックしたんですけど、普通今世代は大体甘いものというかそういうものがあふれている。大体それを親もすぐやってしまうんですけど、やっぱりお茶

	<p>とかなんかそういう糖分のないものをどこか入れておいたほうが、非常にそういうのをいろいろと真っ先に健康に注意しているなど、その部分が強く出ると思いますね。それから全体の問題に関わるんですけど、アンケートして意外と答えない人に問題が隠れていることが多いから、アンケートの回収率なり、ちょっとした工夫で回収率が上がるような方策を、ここに書かれていることではなくて、方法論のちょっとなんかこういう場合に回収率が悪くなるんじゃないかっていう部分を、ちょっと今具体的に言ってもいいんですけど想定してもらったらどうかなと。それから18歳以上、前は20歳以上だったということらしいんですけど18にしてみた。そこからなんで高校生が抜けているんだっていうことなんだけど、やっぱりこの生活習慣病なり将来の肥満児とか年がたってからなんらかのダメージを受けるのは、やっぱり中学校ぐらいに自我が出てきて高校生になって意外と人格形成ができて、進路の問題だ、いろんな問題があって引きこもってみたりいろんな悪さをしてみたりという部分があるから、意外と18歳じゃなくて高校生の部分を入れる形は良かったら十分ある。ただし回収するのがやっぱり難しいんですよ。学校っていう機関を通じれば回収できるけど、もう就職していたり学校に行っていない人からどう回収するか。それが若干問題があってやらないのかなと僕が勝手に推測したんですけども。それともう1つは、なんだったか忘れちゃったけど…、子供がですね、3つぐらいあったんだけど思い出したらまた言います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>今一緒に話していたんですけど、どのようなものを飲んだり食べたりしますかという3つまでというのがあるんですけども、ここにずっと書いているんですけど、特に意識して硬いものを食べさせる、硬いスルメとかそういうのを入れたほうが、よく噛んでいいんじゃないかなと話をしたんですが。顎がはらないで困っているんですね、硬いものを食べていないから。だからそれをちょっと入れてくれたほうがいいかなと。</p>
<p>委員</p>	<p>もう1つは、東京なんかは地下鉄、上下あるから歩くこと多いんだけど、我々のさぬき市レベルでは何かと実際に歩く距離が短いんです。だからどこかの項目で1日何メートルとか何キロとかどのぐらいの距離を歩いていると思いますかという、足を使って歩いているのを入れたら相当に運動量、カロリーの消費量が見えてくるので、どこかの項目で1日平均何キロぐらい歩いていると思うか幅でいいと思うんですけど項目はいくらか。そこはやっぱり成人予防の要でないかなというのが感想です。それと間食の部分が大事だね。間</p>

	<p>食のところちょっと曖昧だと思います。だからスポーツとかって特定するんじゃないなくて、スポーツしない中学生も多いので、やはり歩くということわりと気にしていますよね。大人もわりとジョギングとかスポーツ的じゃなくてただ単に歩くと。そういうことも大人にも入れたらわかりやすいかなと。</p>
事務局	<p>歩くことを皆さん意識しているかという辺りのところを入れておいたらいいんじゃないかというご意見で、成人のほうの29の設問に、最初は皆さんの歩数を聞くというような設問も盛り込んでいたんですけども、なかなか意識の高い人は本当にそういうこともできるだろう…</p>
委員	<p>歩数では答えられないと思う。大体の感覚で1キロぐらいとか。歩数が1キロ何歩ぐらいとかかるのかは全然僕も即答できないけど、だから何キロぐらい、例えばここから駅までが何歩ぐらいとか何か平均値を出してざっくりと。それは正確な数値は得られないけど、例えば通学でどのぐらい歩いているのかとか大体出るのではないかと。親御さんも大体見当できるのではないかと考えているんですけどね。</p>
事務局	<p>距離数も入れて具体的によくわかるんじゃないかというご意見だったと思うんです。</p>
委員	<p>そうすると意外と歩いていないということは集約して出てくるんじゃないかと想像したんですけど。</p>
事務局	<p>はい。成人のほうの問29の中で、あなたは生活の中で歩くことを意識していますかという設問をしていますので、そういう具体的なものを自由にかけるような感じですかということ、また検討したいと思います。あと回収率を向上するためにいろんなほかに工夫とかないでしょうかというご質問ですけども、</p>
コンサルタント	<p>小学生、中学生部分とか保育園分については学校であったり施設のほうに協力をしていただくので、こちらの回収率のほうは非常にほぼ100%に近い形で回収ができると思っております。ただ郵送でアンケートのほうを実施をさせていただきます18歳以上の分、こちらのほうについては、やはりこれまで平均的に他市町さんの分を見ても、大体5割から6割ぐらいの回収率ということになっています。少しでも回収率のほうを上げるためにアンケートを発送したあとに、発送させていただいた方々全てに礼状兼督促ハガキということで、アンケートのご協力のお礼を兼ねましてもしまだ提出のほうをい</p>

	<p>ただいていない方がいらっしやいましたらということで、お手紙のほうを出させていたどうかと思っております。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。はい、どうぞ。</p>
委員	<p>これ7月辺りですか、発送は。発送してから回収までの期間というのはどのぐらいを考えられているんですか。</p>
事務局	<p>予定としては20日間ぐらいをみていたんですけども。</p>
委員	<p>あまり長すぎるとあとでもいい、あとでもいいと思ってほったらかしにして期限が終わったところに「あれ？」っていうのが結構あるんで、早いほうが書きやすいかなと思いました。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。いろいろご意見いただきましてありがとうございます。まだほかにもご意見等が出てくるかもしれません。例えば今日お帰りになって見てみたらここはこういうふうにしたらいいんじゃないかというふうなところがお気づきになりましたら、また事務局のほうにご一報いただければと思います。今後、事務局並びにJMCさん並びに私委員長と共にアンケートの項目を検討させていただければというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。では、議事をすすめさせていただきまして議題のその3、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>では先ほどの資料の14ページをご覧ください。今後は4回の策定委員会を予定しております。第2回目は10月にアンケート調査等の結果をご報告させていただき、さぬき市の課題についてご検討いただきたいと思っております。第3回目は11月に課題に対する目標と計画素案の検討を、第4回目は12月に計画素案の検討をしていただき1月にパブリックコメントを実施いたします。2月に第5回の策定委員会を開催させていただき、パブリックコメントの結果報告と計画書の承認をいただけるよう進めてまいりたいと考えております。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。ただいま説明にありました今後のスケジュールについて、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ではそういうふうなところで進めさせていただければというふうに思います。続きまして議題その4のその他について事務局から何か報告等ござい</p>

	ますでしょうか。
事務局	次回、第2回策定委員会を10月31日木曜日、午後2時より開催をしたいと思っておりますので委員さんの皆様にはよろしくお願いを申し上げます。
委員長	第2回が10月31日木曜日ということで、今から3カ月ちょっと、ほぼ4カ月ぐらいですかね、あるということで、その間にこの調査を実施してその集計結果も次回には報告いただけるということの予定だと思います。ぜひ委員の皆様もその31日、日程を空けておいていただければというふうに思います。では、以上で議題の検討を終わります。ご協議ありがとうございました。その他、何か委員さんのほうでご意見等ございますでしょうか。はい、どうぞ。
委員	最初の第1回目のレジメのところにありました7ページの1人あたりの医療費について項目がありましたけれども、さぬき市の場合は増加しているということで、歯科医師会のほうで統計をとりましたところ自分のお口の中に残っている歯の数が多いほど医療費のほうが増加しているという統計結果が出ております。それで、その機能指数を残すためにはやはり歯周病の関係が今一番クローズアップされています。歯周病に関しましてはそれに関係する糖尿病、喫煙等々の関連も最近よく言われております。糖尿病のほうも改善されたら歯周病のほうも改善される、両方改善されなければいいほうに進まないというふうなこともあるそうですので、そういうところも踏まえて今後また市民の皆さん方にも周知していただけたらと思います。
委員長	はい、ありがとうございました。では、ほかに委員の皆さんから何かご意見等ございますでしょうか。ないようですので、以上で本日の会議を終了いたします。どうもお疲れ様でございました。ありがとうございました。
事務局	皆様どうもありがとうございました。長時間、誠にありがとうございました。沢山のご意見、またいろいろご協議いただきましたことを少しでも反映できるように、また事務局等々で協議させていただきたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。
	＜ 閉 会 ＞15時50分